

Earth Support Corporation.

アースサポート株式会社

本 社 / 〒690-0025 島根県松江市八幡町882番地2
TEL 0852-37-2890 FAX 0852-37-2892
E-mail: earth@earth-support.jp

東京本部 / 〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目4-14
未来環境創造ビル3F
TEL 03-6441-2900 FAX 03-6441-2920

<http://www.earth-support.jp>



ISO14001
JQA-EM1465
本 社
廃棄物リサイクル



アースサポート株式会社は
島根スサノオマジックを応援しています。



CSRレポート2019

アースサポート株式会社

すべてはお客様に安心して快適な環境を提供するために。

EARTH SUPPORT

CONTENTS

- 03 会社概要
- 05 トップメッセージ
- 06 1 あらゆる人々の活躍の推進
 - 1 貧困をなくそう
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 5 ジェンダー平等を實現しよう
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 10 人や国の不平等をなくそう
- 12 2 地域活性化
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
- 14 3 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 11 住み続けられるまちづくりを
- 15 4 省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
- 22 5 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 14 海の豊かさを守ろう
- 25 編集後記



SDGS (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)

【持続可能な開発目標】

当社はISO26000に対応するCSR活動を行うとともに、国際社会全体の開発目標として2015年9月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された17項目の「持続可能な開発目標」の実現に寄与する企業活動に全社を挙げて取り組んでいます。今年度のCSRレポートは、これらの開発目標に関わる当社の取り組みについて、それぞれのマークを記載してご紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

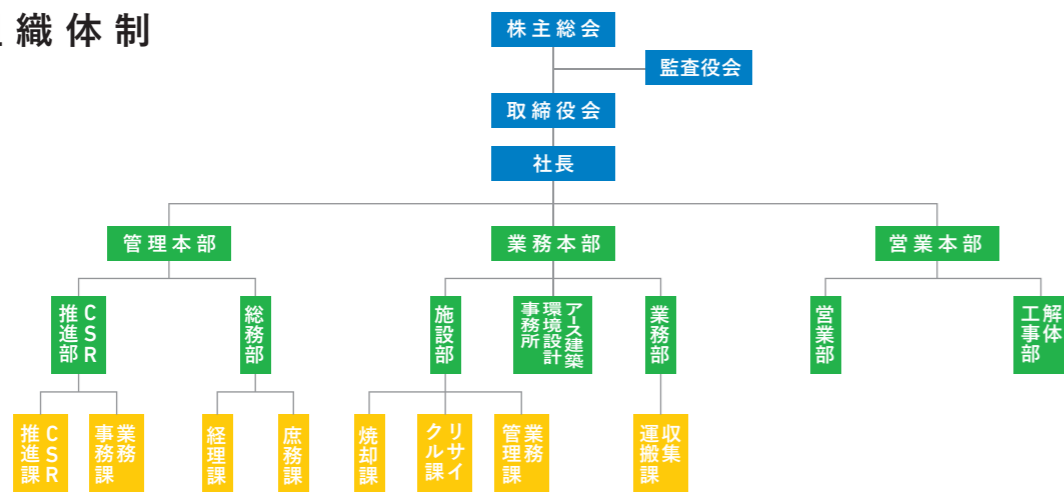


■ 対象期間 2018年4月1日～2019年3月31日

■ 対象組織

名称	アースサポート株式会社	設立	昭和38年2月4日
所在地	島根県松江市八幡町882番地2	資本金	5,000万円
代表者	代表取締役 尾崎 俊也	従業員数	161名(2019年3月31日現在)

■ 組織体制



■ 環境方針

【基本理念】

アースサポート株式会社は、廃棄物の適正処理・リサイクル・清掃活動を通じて地球環境保全に貢献するとともに、都市空間のトータルサポートを目指し、お客様に安心して快適な環境を提供する。

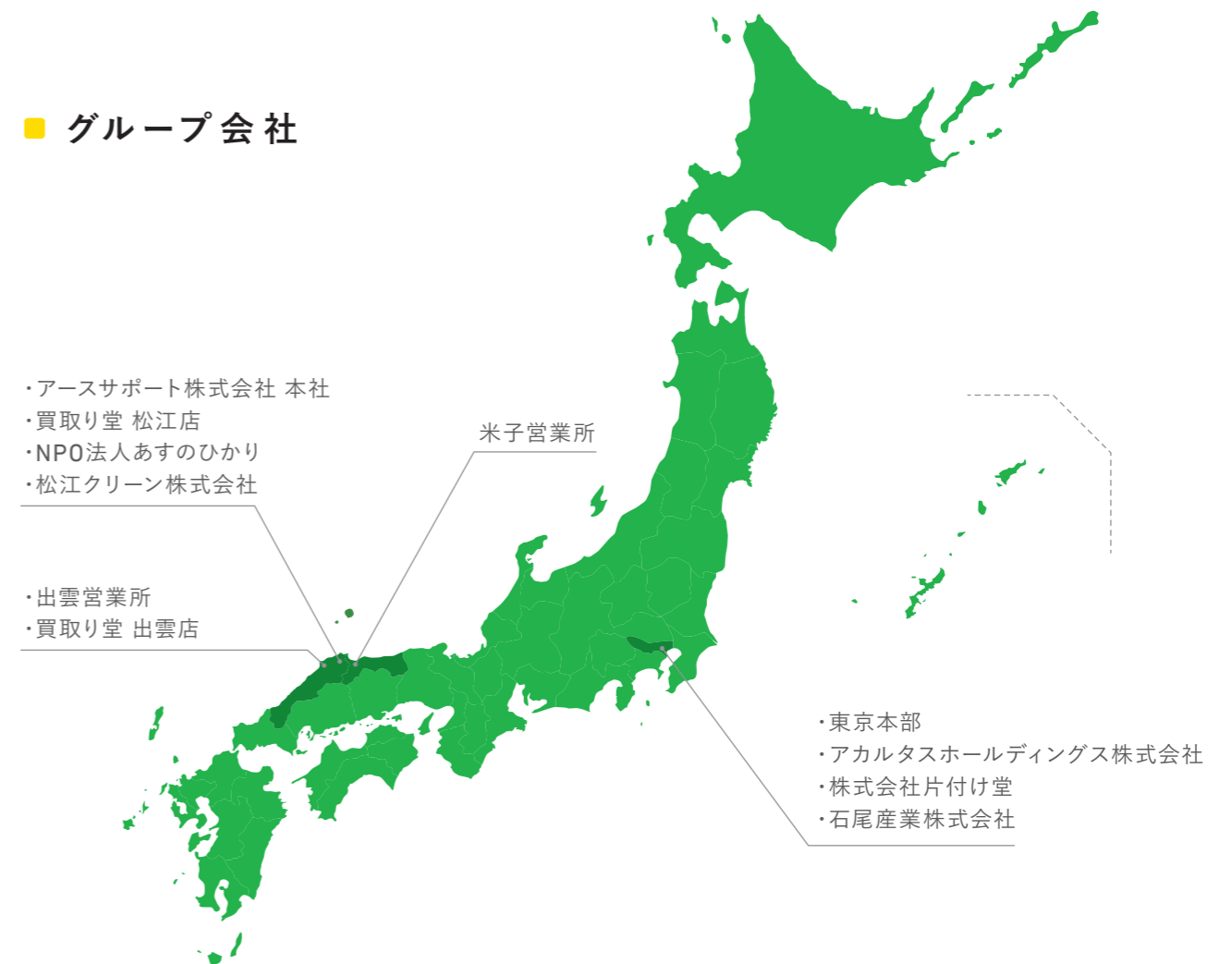
【環境方針】

- ① 環境目標を定め、その見直しを定期的に行うことにより、継続的な改善活動を行います。
- ② 持続可能な資源の利用を推進するために、省エネルギー、廃棄物のリサイクル及び減容化に努めます。
- ③ 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、汚染の予防及び環境保護に努めます。
- ④ 環境教育・広報活動を通じて、生物多様性を含めた環境保全意識の向上を図ります。
- ⑤ 地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社づくりを行います。
- ⑥ 環境方針は、一般に開示します。

平成29年10月1日

代表取締役 尾崎 俊也

■ グループ会社



アカルタスホールディングス

所在地: 東京都港区赤坂4-4-14 未来環境創造ビル3階
 代表者: 代表取締役 尾崎俊也
 事業内容: グループ全体の経営戦略策定

石尾産業株式会社

所在地: 東京都八王子市栴田町533番地11
 代表者: 代表取締役 市村純一
 事業内容: 一般および産業廃棄物収集運搬

株式会社 片付け堂

所在地: 東京都港区赤坂4-4-14 未来環境創造ビル3階
 代表者: 代表取締役 尾崎俊也
 事業内容: 「片付け堂」フランチャイズ事業

松江クリーン株式会社

所在地: 島根県西志保町10番地1
 代表者: 代表取締役 牧野正剛
 事業内容: 産業廃棄物の最終処分(安定型)

あすのひかり

所在地: 島根県松江市八幡町793-4
 代表者: 理事長 尾崎恵美
 事業内容: 障がい者の就労支援

TOPMESSAGE

資源循環事業を通じて地球環境の保全に貢献するとともに、
不用品回収事業を全国展開することで
高齢化社会の課題解決に寄与する。

様々な社会問題に対し、事業によってその解決を図る
「ソーシャル・アントレプレナー（社会起業家）」を目指し、
より良い社会の構築のために積極的に活動する。

代表取締役 尾崎 俊也



平素は弊社業務につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社の「社会とのかかわり」、「地域とのかかわり」、「社員とのかかわり」等、弊社が日々の経営に向き合う際に大切にしています様々な活動をまとめた『CSRレポート2019』を発行させていただくにあたり、関係各位に多くのご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

■アースサポートを取り巻く環境変化

目まぐるしいスピードで変化する事業環境の中で、弊社およびグループ各社は意思決定を迅速にし、且つ力を合わせて積極的な事業活動を展開していきたいと考えています。そのような考えのもと、2018年8月にグループ各社とともにアカルタスホールディングス株式会社という純粋持株会社を設立し、当社を含むグループ各社はアカルタスホールディングスの100%子会社となりました。現在アカルタスホールディングスの傘下にある会社は、弊社アースサポート株式会社、石尾産業株式会社（東京23区で事業系一般廃棄物収集運搬事業を営んでいます）、株式会社片付け堂（不用品回収事業「片付け堂」の全国フランチャイズ事業）、そして2018年12月にグループに参加することになった松江クリーン株式会社（松江市内で解体業、安定型最終処分業を営んでいます）の4社となります。純粋持株会社であるアカルタスホールディングスとグループの中核企業であるアースサポートについては私が社長として牽引していますが、傘下のグループ各社についてはそれぞれ別の社長が就任して経営を担うことで、グループ全体でスピード感のある意思決定

や経営の舵取りを行なっていきたいと考えています。

また、アカルタスホールディングス株式会社は日本の経済の中心地である東京に本社を構え、グループ全体の情報収集を行なっています。今後の事業展開としてはM&Aが重要な役割を果たすと考えており、将来的には現在の4社だけでなくM&Aを活用して積極的にグループを拡大していきたいと考えています。

■良き企業市民として地域に貢献する

2019年5月1日から新たな元号である「令和」がはじまりました。令和が希望にあふれる素晴らしい時代になることを心より祈念いたします。そして、この令和元年の最初の大きな地元行事は、10年に一度開催される日本三大船神事であり「ホーランエンヤ」でした。「ホーランエンヤ」とは370年の歴史を有する松江城山稲荷神社式年神幸祭の通称で、全国最大級の船祭りです。5月18日の渡御祭を皮切りに、22日の中日祭、26日の還御祭まで9日間のお祭り、特に五大地と呼ばれる地域の方々が権伝馬船に乗り込み、権伝馬踊りを披露する姿は本当に素晴らしいと感じます。

弊社は「いのち（いのち）またかた」で有名な馬湯町内会が地元であり、今回のホーランエンヤの大成功を祈念してご協力させていただきました。また、私も渡御祭、還御祭ともに観覧に行かせていただき、いのちまたかたはじめ五大地の方々の権伝馬船の勇壮な踊りを楽しませていただきました。ホーランエンヤが大成功裏に終わ

られましたことを心よりお祝い申し上げます。弊社は「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ必要とされる会社を作る」という経営理念のもと、これからも良き企業市民として地域と真摯に向き合っております。

■持続可能な社会の実現を目指す

弊社は廃棄物処理・リサイクル事業を行なっている会社であるため、私たちの仕事そのものが環境に大きな影響を与え得ることを自覚し、且つ私たちが積極的に環境活動を行うことが社会に対してプラスの影響を与え得るということも理解しなければならぬと考えています。例えば、少子高齢化社会においてご家庭の不用品を回収して適正に処理をするという「片付け堂」事業は社会的に重要な仕事だと認識していますが、そこから一歩踏み出し、不用品を単に処理するのではなくリユース（再利用）しようと考えて昨年は松江に、そして今年には出雲にリサイクルショップ「買取り堂」をオープンしました。このような活動一つひとつが地球環境をより良いものにし、小さなことかもしれませんが持続可能な社会の実現のために役立つということを信じています。

このような思いを一冊にまとめたものが、今回作成した『CSR報告書2019』です。私たちは、お客様、社員、そして地域の方々に喜んでいただける会社作りをしていかなければならないと考えています。その思いをお客様や社員、地域の皆様と交わした「約束」と考え、これからも誠心誠意努めて参ります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく御礼申し上げます。

1

あらゆる人々の活躍の推進

[持続可能な開発目標]



1. 時間単位有給の導入

福利厚生充実策の一環として、平成29年6月より、1時間単位で有給休暇の取得が行える制度を導入しました。これまで、半日単位でしか有給休暇を取得できませんでしたが、社員がより柔軟に有給休暇制度を利用できるようになりました。

2. 短時間勤務制度の延長

育児・介護休業法により、3歳に満たない子を育てている場合、原則1日6時間の短時間勤務ができる制度を定めるよう、義務付けられています。当社では、この制度を利用できる子の年齢を「小学校3年生まで」と延長し、幼少期の子供と触れ合う時間を多くとれるような環境づくりを行っています。

3. 看護休暇日数の増加による働きやすさ改革

育児・介護休業法により、子供の病気やケガなど看護が必要なときに利用できる休暇として看護休暇の制度を定めるよう、義務付けられています。子の看護休暇は「小学校就学の始期に達するまで」とされ、取得可能な日数は、1年度において5日（子が2人以上の場合は10日）です。当社は、これを7日（子が2人以上の場合は14日）としています。乳幼児期の子がいる社員は、看護休暇を全て使うケースもあり、有用な制度となっています。

4. 女性活躍の推進

●女性採用率

	男(人)	女(人)	合計(人)	女性採用率
現場職	88	7	95	7%
事務職	28	33	61	54%

●勤続年数男女差

	男(年)	女(年)	差
	7.7	6.8	▲0.9

●管理職に占める女性労働者の割合

	男(人)	女(人)	割合
	15	3	17%

知識と経験を兼ね備えた優秀な女性社員が結婚・出産ということだけで退職をせざるを得ないようなことにならないようしっかりとフォローできるような組織作りは、社会的にも、そして当社が今後より成長していくためにも非常に重要なことだと感じています。そこで、女性社員が安心して育児休暇を取得できるよう、業務をマニュアル化し、他の社員でも業務対応できるよう、社内の環境も整えています。事務系職員の女性採用比率は54%と高いですが、勤続年数ではやや男性の方が高く、また現場職員における女性採用人数が少ないため、女性限定の収集運搬ドライバーの採用募集を常時行う等、採用活動に注力しています。

課長以上の管理職においては、17%とやや低い数字ではありますが、係長・主任と次期管理職候補の育成を行っています。

5. 家族見学会の開催

社員のご家族を会社に招いて、普段どんな職場で働いているのか、アースサポートがどんなことをしているのかを知っていただきたいと思い、毎年1回家族見学会を開催しています。今年で16回目となる見学会を平成30年7月1日に開催し、家族数10組、大人24人、子供13人の皆様に参加いただきました。当日は、会社の概要について説明後、クイズやゲームをしながら施設の見学を行いました。毎年、小さなお子さんの参加も多く、特に重機や各種収集車両への乗車や記念撮影が人気でした。普段なかなか目にすることのできない仕事姿や風景に触れていただき、また毎年恒例となっている社員からご家族に向けたメッセージビデオの上映もあり、帰宅後、社員とご家族の会話も弾んだのではないかと思います。



6. 事業報告会の開催

当社では全社員が集まる事業報告会を年2回開催しています。社長から今後の方向性や会社のビジョンを説明し、その後、各部署とプロジェクトチームごとに目標の達成状況を発表します。12月に行われる発表会では、各種表彰も行われるなど、社員が盛り上がるイベントとなっています。前年度に会社への貢献度が高く先進的な取り組みを行った事業に対しては、年間MVP賞を授与します。MVPは、事前に社員が自ら経営幹部にプレゼンテーションを行い、その結果がこの発表会で行われます。そのほか、「ムードメーカーで賞」「プロフェッショナルで賞」など、個人賞も発表されます。勤務時間や勤務場所が異なる社員同士が顔を合わせ、他部署の発表内容を聞くことでコミュニケーションを円滑に図ることができる貴重な機会となっています。



7. 報奨制度

あらゆる表彰制度によって、社員のモチベーションアップに努めています。

お褒めの言葉賞	お客様からお褒めいただいた職員への報奨
ネーミング賞(名称募集)	新規商品・サービスの名称を社員へ募集し、採用された職員への報奨
A重油ランキング賞	焼却炉の運転において、消費するA重油の量が少なかった上位3名の職員への報奨
収集ドライバーチーム対抗戦	収集運搬を行うドライバーを4チームに分配し、チーム対抗で次の項目をポイント制で競い、1位のチームメンバーへ報奨 ＜安全運転・身だしなみ・事故・車両点検など＞
年間MVP・アースサポーター賞グジョブ賞	1年間でアースサポートに新たな価値を生み出した取り組みを行った職員またはチームへの報奨
部門賞	1年間、各部署ごとで投票により選出された功労者に贈られる報奨 ＜例：新人賞…入社2年以内の職員が対象＞



8. レクリエーション

「社員が夢をもてる会社プロジェクトチーム」が中心となり、様々なレクリエーションを行っています。毎年社員旅行を企画し、今年は大阪へ行きました。また、島根サノオマジックの試合観戦に社員ご家族をご招待したり、毎月社内報を発行し、新入社員の紹介やCSR活動の紹介などを行っています。



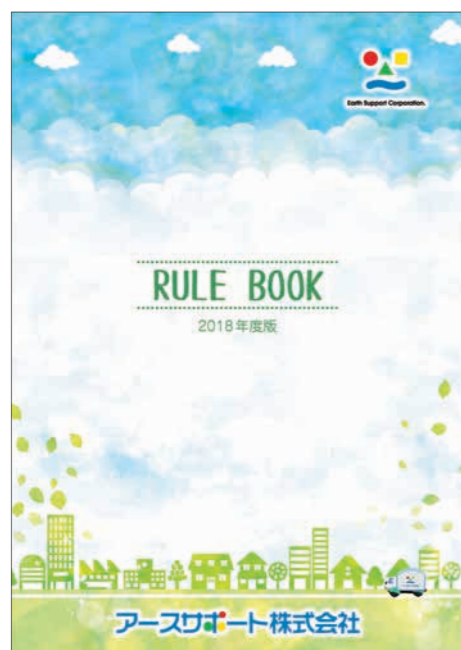
9. 研修と資格

廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）によりさまざまな種類に分類されますが、見た目だけではなく、廃棄物の排出工程によって種類が変わる複雑な分野です。また、廃棄物の性状も様々で、処理に当たって知識や技術が要求されます。当社では、廃棄物のプロとして、お客様の“困った”を迅速にかつ適正に解決できるよう、研修を行っています。ISO14001の環境マネジメントシステムに準じて、新入社員に対しては、各部署からの講義や現場体験を行っています。資格については、業務に必要な資格はもちろん、会社が推奨する資格は受講料を会社で負担し、社員のスキルアップを行っています。



10. アースサポート社員ルールブックの配布

就業規則や賃金規程等はプリントアウトして各部署に置いており、社員はいつでも確認ができるようにしてきましたが、より確認がしやすいようにと考え、今回から個人に配布することにしました。さらに、就業規則や賃金規程だけでなく、社会保険、出産や育児に関すること等、社員の皆さんに分かりやすい内容となっています。また、配布だけでなくネットでも確認できるようにしています。最近では労働に関する法律も頻繁に変更となり、その都度就業規則もそれに合わせて変更しているので、そういった細かな修正事項についてはネット版のルールブックで最新のものが確認できるようにしています。



項目	ページ
勤務時間に関するルール	3
休日に関するルール	4
有給休暇に関するルール	5
時間外労働（残業）に関するルール	6
社会保険制度について	7
出産・育児に関すること	8
仕事以外で病気やケガをしたら？	10
退職に関すること	11
給与に関すること	12
パワハラ・セクハラ・マタハラのない職場	13
禁止事項について	14
健康管理に関すること	15
社用車に関すること	17
基幹業務システム（環境將軍）について	18
就業規則	19
賃金規程	44
育児・介護休業等に関する規程	64
安全衛生管理規程	78

●資格者リスト

廃棄物関係	人数
産業廃棄物収集運搬業の許可に関する講習会修了者	27
産業廃棄物処分業の許可に関する講習会修了者	1
特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可に関する講習会修了者	2
特別管理産業廃棄物処分業の許可に関する講習会修了者	2
産業廃棄物焼却施設技術管理士	4
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1
廃棄物焼却施設に関する業務特別教育	3
廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止に関する業務に係る特別教育	1
廃棄物処理施設におけるダイオキシン類対策に係る作業指揮者養成研修修了者	1
特別管理産業廃棄物管理責任者	4
産業廃棄物処理業従事者能力アップセミナー現業管理コース受講修了者	1
PCB廃棄物の収集運搬業作業従事者講習会修了者	2
一般廃棄物収集運搬・処分業者講習修了者	1
一般廃棄物の収集運搬・処分事業者セミナー修了者	1
一般廃棄物焼却施設技術管理者講習修了者	1
環境管理士	1
環境管理士(濃度関係)	1
建設廃棄物適正処理実務研修修了者	1
甲種防火管理者	1
ごみ処理施設技術管理士	2
最終処分場技術管理士	1
破砕・リサイクル施設技術管理士	1
化学物質管理者	1
酸欠危険作業特別教育修了者	2
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	6
粉じん作業特別教育修了者	2
石綿取り扱い作業従事者特別教育修了者	4
特定化学物質等作業主任者	2
毒劇物取り扱い責任者	1

【令和元年5月末現在】

清掃関係	人数
ビルクリーニング技術士	1
清掃作業監督者	1
建築物環境衛生管理技術者	1
防除作業監督者	1
防除作業従事者研修修了者	1
貯水槽清掃作業監督者	1
貯水槽清掃作業従事者研修修了者	2
空気環境測定実施者	1
管洗浄技術管理者講習会受講者	1
安全衛生管理講座清掃業職長等教育トレーナーコース修了者	1
第一種衛生管理者	3
下水道排水設備工事責任技術者	1

【令和元年5月末現在】

その他	人数
牽引免許所有者	2
危険物取扱者	9
玉掛特別教育修了者	16
玉掛技能講習修了者	19
床上操作式クレーン運転特別教育修了者	21
床上操作式クレーン運転技能講習修了者	1
小型移動式クレーン運転特別教育修了者	10
小型移動式クレーン運転技能講習修了者	15
クレーン運転特別教育修了者	3
フォークリフト運転技能講習修了者	42
小型車両系建設機械(整地等)の運転業務	13
フルハーネス型墜落制止用器具使用作業特別教育修了者	9
車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用及び掘削用)運転技能講習修了者	34
車両系建設機械(解体用)運転技能講習修了者	11
車両系建設機械(解体用)運転技能特別講習修了者	16
ローラー運転業務特別教育修了者	1
基礎2級機械保全技能士(機械系保全作業)	3
足場組立て等作業主任者技能講習修了者	1
足場の組立て等特別教育修了者	2
アーク溶接等業務特別教育修了者	15
ガス溶接技能講習修了者	10
有機溶剤作業主任者技能講習修了者	1
研削といしの取替え又試運転の業務特別教育修了者	8
高所作業車特別教育修了者(10m未満)	5
高所作業車運転技能講習修了者(10m以上)	4
土止支保工作業主任者	1
地山の発削作業主任者	1
二級ボイラー技士	1
自由研削といしの取替え等業務特別教育修了者	3
石綿使用建築物等解体特別教育修了者	2
解体工事施工技師資格者	1
普通救急救命講習修了者	28
職長安全衛生管理者講習	1
職長安全衛生教育修了者	4
安全管理者選任時研修修了者	1
安全衛生教育修了者(建設工事に従事する労働者)	1
労働安全衛生法による特別教育修了者	1
職長・安全衛生責任者教育修了者	4
安全運転管理者講習修了者	2
労働安全衛生法による技能講習修了者(特化四鉛)	1
初任時安全衛生推進者能力向上教育課程修了者	1
KYTトレーナー	4
はい作業主任者	1
運行管理者	1
整備管理者選任前研修修了者	1
駐車監視員資格者	2
2級土木施工管理技士	3
警備員指導教育修了者責任者(1,2号)	1
交通誘導警備1級	1
雑踏警備業務1級	1
一級建築士	1
1級建築施行管理技士	1
第3種電気主任技術者	1
地下タンク等に係る定期点検技術者	1
ISO14001内部監査員	11
食品適正表示推進者育成研修会受講者	1
職業能力開発推進者講習修了者	1
事業内職業能力開発計画策定講習修了者	1
不当要求防止責任者	1
下請取引改善講習修了者	1
ライティングコーディネーター	1
酒類販売管理者	1

【令和元年5月末現在】

2 地域活性化

[持続可能な開発目標]



11. 新卒採用活動

人手不足は全国的にも大きな社会問題となっています。当社では、毎年新卒の採用活動に力を入れており、「採用プロジェクトチーム」が中心となり、継続的に新卒の学生を採用しています。インターンシップの導入や面接時の送迎など、学生に寄り添った採用活動に注力しています。また、松江市雇用政策課からの依頼があり、大学に進学予定の3年生を対象に、卒業後島根に帰ってきて就職したいと思ってもらえるよう、島根県立松江東高等学校の学生に会社見学を行っていただきました。



12. 労働安全への取り組み

①安全大会の開催

年1回、事業報告会で全社員が集うため、報告会の後に「安全大会」を実施しています。目的としては、安全に対する意識向上と職場の安全活動の推進等であり、毎回外部の講師を招き、受講しています。

②自動車学校における安全運転講習

OD式安全性テスト、運転適性検査を受け、自分が注意すべき課題が浮き彫りになりました。また、講師の方を助手席に乗せて走行し、運転の癖についてアドバイスいただきました。(3名受講)



③安全パトロールの実施

毎月1回、現場の各担当者（焼却炉、その他の施設、収集運搬、安全衛生管理者）で場内を回り、安全面で問題ないかをチェックし、指摘事項は管轄部署が改善後写真等により報告するルールになっています。例えば、「書庫で床に書類が置いてあり、通路を塞いでいる。」という指摘があり、早速管轄部署が改善を行いました。自部署では気が付きにくい盲点をお互いに指摘しあうことで、より具体的な安全対策をとることができます。



1. みどりの図書

平成16年から始めた竹矢小学校への環境に関する「みどりの図書」の寄贈も今年で14回目となりました。「最近の環境に関する図書は昔とは様変わりしていますが、アースさんから新たに環境に関する図書を頂けるので、古い図書は破棄して、新たな図書を置く事が出来ています」とのお言葉を頂きました。毎年継続して行うことの大切さ、小学校を含めた地域への活動の大切さを改めて実感することが出来ました。長い期間ずっと続けられる地域貢献活動を今後も行っていきたいと考えています。

●寄贈図書リスト

商 品 名	出 版 社
ふしぎをためす図鑑 いきものしいく	フレーベル館
日本の国土とくらし②あたたかい土地の人びとのくらし	ポプラ社
日本の国土とくらし⑥寒い土地の人びとのくらし	ポプラ社
発見!体験!工夫がいっぱい!ユニバーサルデザイン	学研
安全に楽しく乗ろう!自転車まるわかりブック 全2巻	教育画劇
でんじろう先生のおもしろ科学実験教室 全5巻	新日本出版社
まるごとわかる「日本人」はじめて百科 全5巻	日本図書センター
オリンピックものしりチャンピオン	くもん出版
のぞいてびっくり!顕微鏡 全3巻	ポプラ社
知っておきたい日本の火山図鑑	小峰書店
大研究動物うんこ図鑑	国土社
今日はなんの日? 366日大事典	あかね書房
もったいないばあさん	講談社
もったいないばあさんと考えよう世界のこと	講談社
もったいないことしてないかい?	講談社
富士山にのぼる	教育画劇
月を知る!	岩崎書店



2. スサノオマジックスポンサー

島根県のプロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」のオフィシャルスポンサーとして、応援を行っております。試合の冠スポンサーとしてブース出展を行ったり、ブースタークラブ会員向けの割引サービスなども実施しています。今後も、島根スサノオマジックを通じて、地域活性化を盛り上げていきます。



3. 竹矢小学校ミニバスチームのバスケットボールクリニック開催

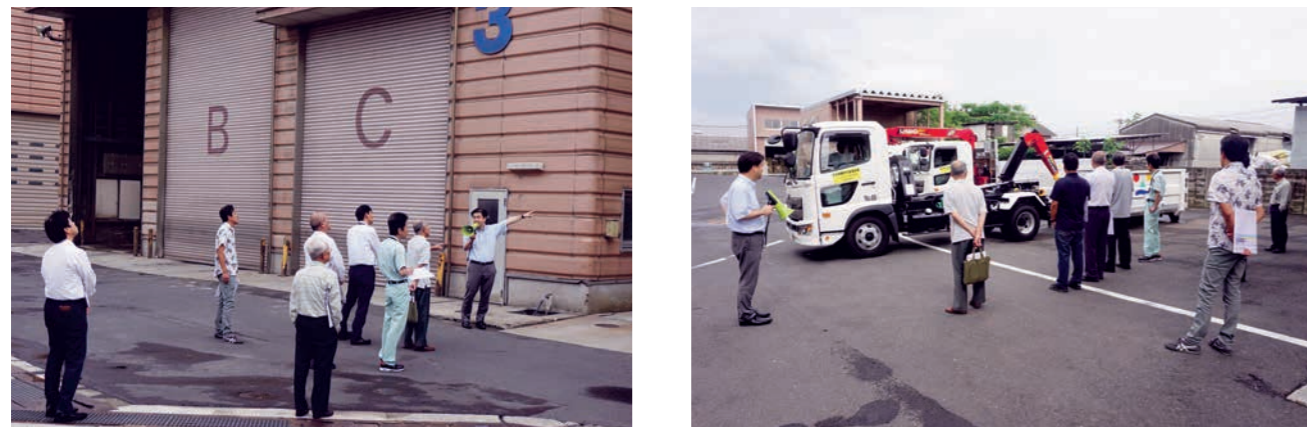
平成26年頃より、竹矢小学校のミニバスケットボールチームに対してバスケットボールクリニックを開催しています。ササノオマジックで活躍されている現役選手を招待し、子供たちとのミニゲームやサイン会、記念撮影などを行いました。当日は限定記念タオルをプレゼントし、子供たちにとって思い出に残せるような時間を過ごすことができた、と大変喜んでいただきました。



4. 地元見学会

平成12年8月に竹矢地区自治協会様をはじめとする8団体様と「環境に関する協定」を締結させていただき、それ以降行っている見学会も26回目を迎えることができました。これも地元自治会様はじめ、松江市廃棄物対策課様ほか関係各位の皆様のお力添えのお陰と感謝致しております。7月8日に行った見学会では、これまでの当社の取組みや新施設導入について説明後、工場内の見学をしていただきました。

当社では「地域との共生を目指し、地域に喜ばれ、必要とされる会社作りをする」という経営理念を掲げており、今後も見学会やCSR報告書等を通して、徹底した情報公開、更なるリサイクルの推進、地域の環境活動へ積極的に参加してまいります。



3 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備

[持続可能な開発目標]



1. 株式会社片付け堂の立ち上げ

株式会社片付け堂

当社は、個人向け不用品回収サービス「(ごみのコンビニ) 片付け堂」の展開を平成25年11月より始めました。粗大ごみの処理をめぐっては、無許可業者による回収や不明瞭な料金体系によるトラブルなどが後を絶たないのが現状です。そのような状況の中、お客様に安心してサービスを利用して頂く為、様々な施策を行ってきました。そうした取り組みの結果、お客様から大変ご好評を頂くサービスへと成長致しました。

このサービスを地元地域だけでなく、全国のお客様へ提供したいとの思いから、平成29年4月より片付け堂事業のフランチャイズ (FC) 展開をスタートさせました。法令順守の観点から、各地域の一般廃棄物の収集運搬業の許可を持っている企業を募り、安心してお任せ頂けるサービスを全国に提供しています。今後は、当社が培ってきたノウハウを、研修等により加盟企業に提供していくと共に、全国の隅々までサービスを行き届かせることができるよう、FC事業の拡大を推進していきます。



▲ 片付け堂 FC 全国大会

2. 災害廃棄物の受入

大規模な地震や水害等の災害が毎年のように発生している中、被災地の復旧・復興の妨げになるのが、「災害廃棄物」です。災害廃棄物は、処理を進めなければ復旧・復興が遅いだけでなく、衛生上の問題も発生します。

当社は廃棄物処理業として災害廃棄物の受入を積極的に行い、被災地の迅速な復旧・復興に向けて貢献していきます。

3. 避難訓練と消火訓練

年に1回、避難訓練を実施しています。今回は、松江消防署の方にお越しいただき、消火器や消火ホースの使用法の研修も行いました。社員が実際に消火器をつかって消火作業を行いました。また、廃棄物処理の現場でも、廃棄物から出火したと仮定し、消火栓からホースを出して実際に放水を行いました。

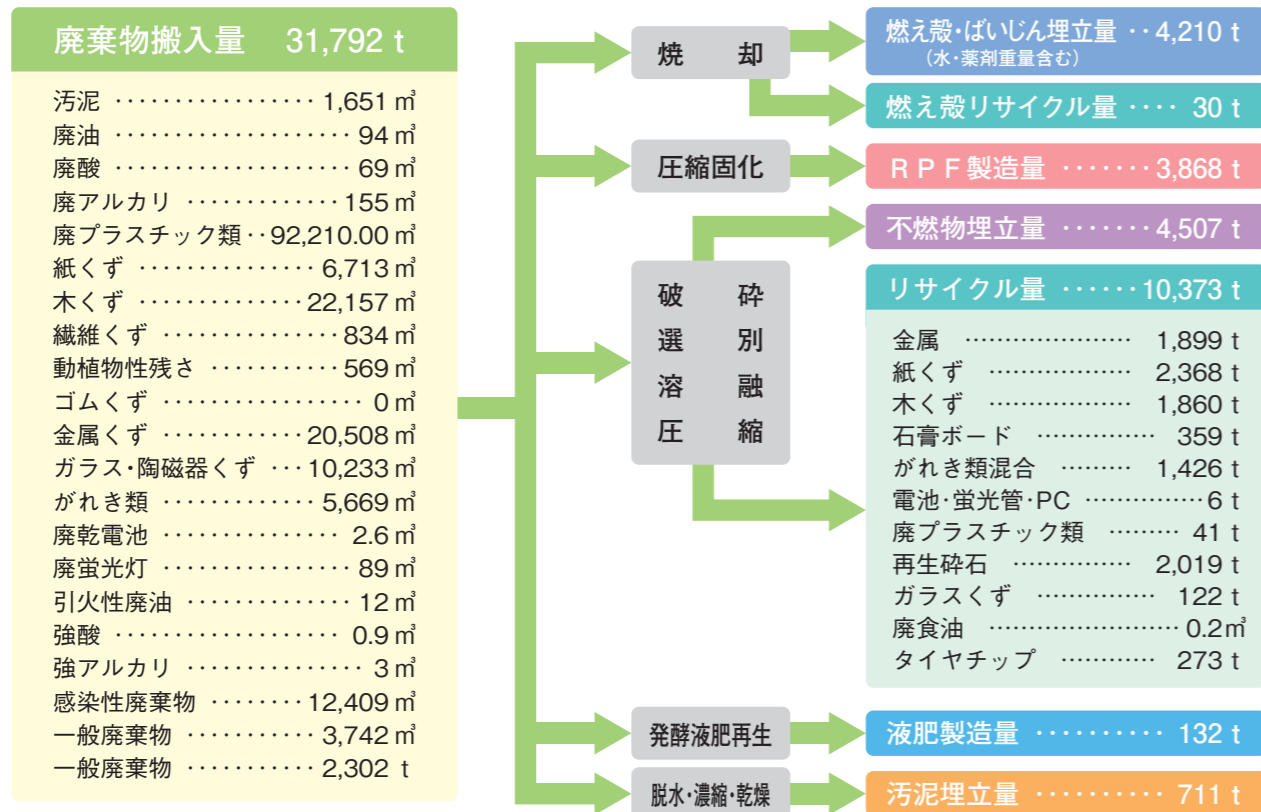


[持続可能な開発目標]



1. リサイクルの推進

当社は受入した廃棄物を適正に処理するだけでなく、可能な限りリサイクルしています。選別を徹底することで、有用な資源を回収するだけでなく、再生利用製品の新規ルートを開拓し、最終処分場への埋立量を削減するよう努力しています。



H30.4.1 ~ H31.3.31 までの実績

● 産業廃棄物のリサイクル率

	最終処分率	リサイクル率
全体	36%	64%
汚泥	100%	0%
廃油	100%	0%
廃酸	99%	1%
廃アルカリ	100%	0%
廃プラスチック類	31%	69%
紙くず	2%	98%
木くず	25%	75%
繊維	49%	51%
動植物	95%	5%
金属	2%	98%
ガラス	75%	25%
がれき	81%	19%
蛍光灯・乾電池	94%	6%
特別管理産業廃棄物	100%	0%

● 一般廃棄物のリサイクル率

	最終処分率	リサイクル率
全体	0%	100%
紙くず・木くず・繊維くず (RPF原料)	0%	100%
食品残さ (液体肥料原料)	0%	100%
廃食用油 (軽油相当油)	0%	100%

H30.4.1 ~ H31.3.31 までの実績

2. 環境データ

● 排ガス測定結果

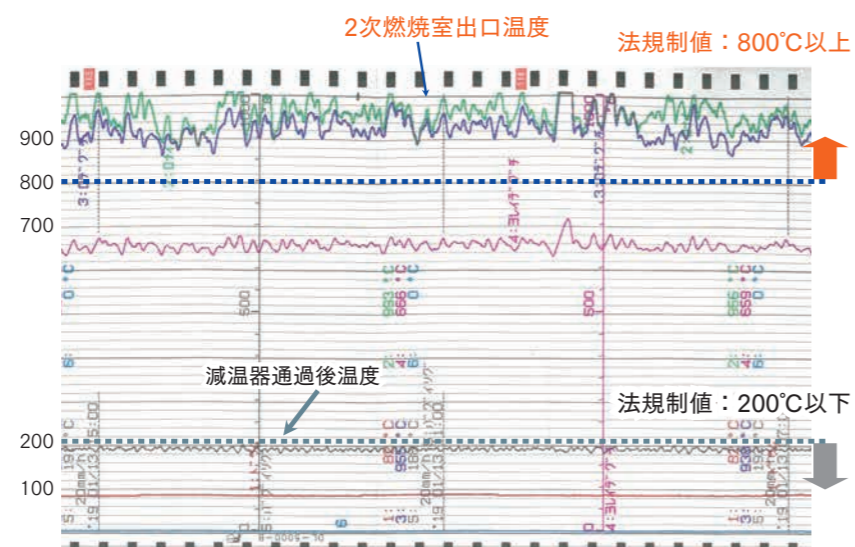
測定項目	測定値		法規制値	単位
	H30.7.20	H30.12.5		
ダイオキシン類	0.059	0.093	1	ng-TEQ/Nm ³
塩化水素	110	200	700	mg/Nm ³
ばいじん	0.072	0.018	0.08	g/Nm ³
硫黄酸化物	1.2	2.1	24.37 25.95	Nm ³ /h
窒素酸化物	140	150	250	cm ³ /Nm ³

● 燃え殻の分析結果

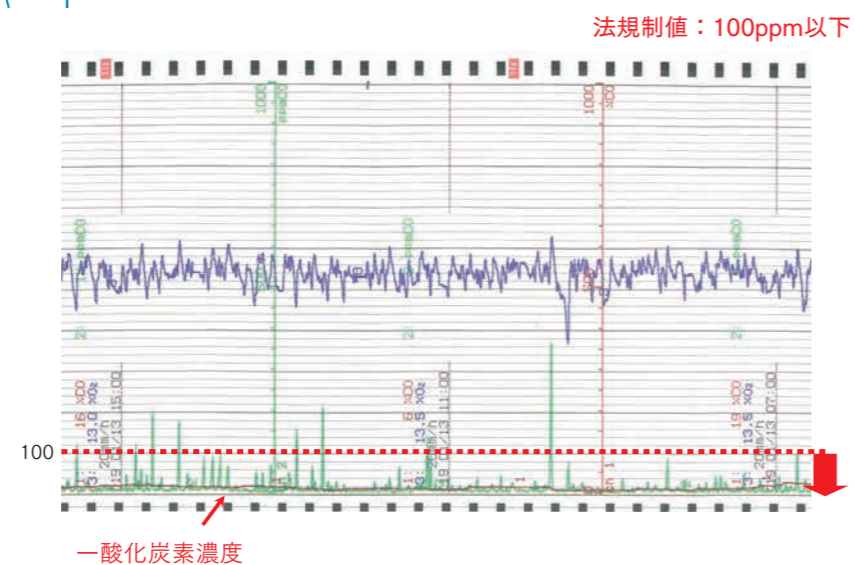
測定項目	測定値	法規制値	単位
	H30.11.26		
ダイオキシン類	0.91	3	ng-TEQ/g

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H30.11.30		
カドミウム又はその化合物	N.D.	≦0.09	mg/㍻
鉛又はその化合物	N.D.	≦0.3	mg/㍻
六価クロム化合物	N.D.	≦1.5	mg/㍻
砒素又はその化合物	N.D.	≦0.3	mg/㍻
水銀又はその化合物	N.D.	検出されないこと	mg/㍻
セレン又はその化合物	N.D.	≦0.3	mg/㍻
P C B	N.D.	≦0.003	mg/㍻
1,4-ジオキサン	N.D.	≦0.5	mg/㍻

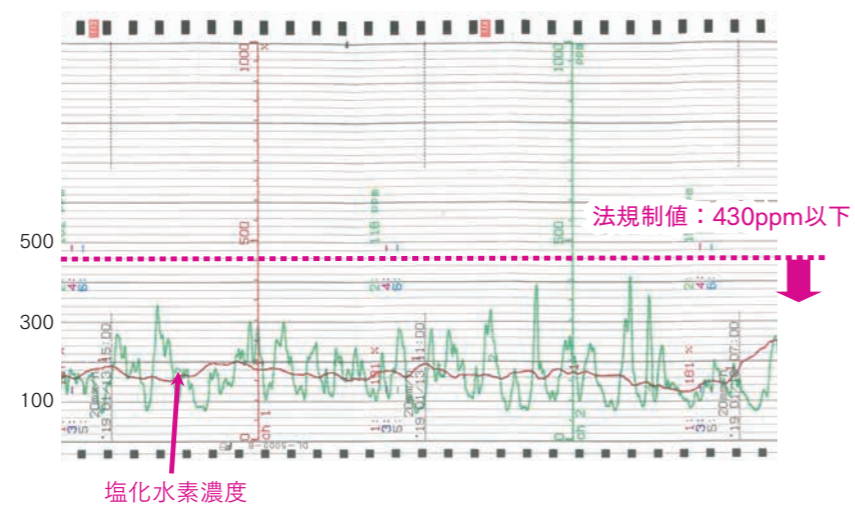
●焼却炉温度チャート



●焼却炉一酸化炭素濃度チャート



●焼却炉塩化水素濃度チャート



●排水分析結果

測定項目	測定値		法規制値	単位
	H30.7.11	H31.2.15		
ダイオキシン類	0.000069	0.0015	10	pg-TEQ/l

測定項目	測定値	法規制値	単位
	H30.10.30		
カドミウム化合物	N.D.	≦0.1	mg/l
シアン化合物	N.D.	≦1	mg/l
有機燐化合物	N.D.	≦1	mg/l
鉛又はその化合物	N.D.	≦0.1	mg/l
六価クロム化合物	N.D.	≦0.5	mg/l
砒素及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/l
水銀又はその化合物	N.D.	≦0.005	mg/l
アルキル水銀化合物	N.D.	検出されないこと	mg/l
P C B	N.D.	≦0.03	mg/l
トリクロロエチレン	N.D.	≦0.3	mg/l
テトラクロロエチレン	N.D.	≦0.1	mg/l
ジクロロメタン	N.D.	≦0.2	mg/l
四塩化炭素	N.D.	≦0.02	mg/l
1,2-ジクロロエタン	N.D.	≦0.04	mg/l
1,1-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.2	mg/l
シス-1,2-ジクロロエチレン	N.D.	≦0.4	mg/l
1,1,1-トリクロロエタン	N.D.	≦3	mg/l
1,1,2-トリクロロエタン	N.D.	≦0.06	mg/l
1,3-ジクロロプロペン	N.D.	≦0.02	mg/l
チウラム	N.D.	≦0.06	mg/l
シマジン	N.D.	≦0.03	mg/l
チオベンカルブ	N.D.	≦0.2	mg/l
ベンゼン	N.D.	≦0.1	mg/l
セレン及びその化合物	N.D.	≦0.1	mg/l
硝酸性窒素・亜硝酸性窒素及びアンモニア性窒素含有量	0.5	≦100	mg/l
ふっ素及びその化合物	N.D.	≦8	mg/l
ほう素化合物	N.D.	≦15	mg/l
1,4-ジオキサン	N.D.	≦0.5	mg/l

3. 太陽光発電

平成23年より、当社RPFプラント建屋の壁面に約5kw発電できる太陽光パネルを設置しています。太陽光発電パネルを導入したことで、廃棄物の中間処理のために必要な電力の一部を太陽光発電というグリーン電力によってまかなうことが可能となりました。当社のような大規模な産業廃棄物中間処理・リサイクル施設を稼働させるためには多くの電力が必要となるため、現在の太陽光発電パネルで全てをまかなうことは無理ではありますが、更なる省エネルギーやグリーンエネルギーのために努力を続けていきたいと思っております。

4. 事務所ごみのリサイクルの推進

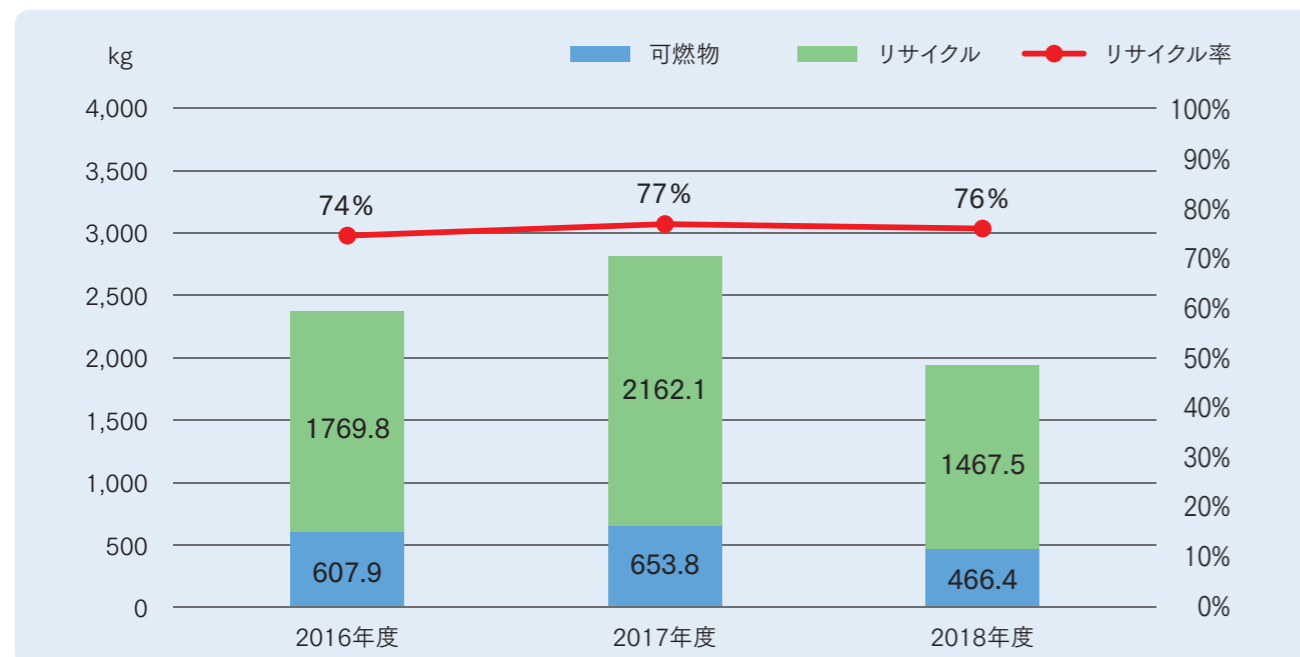
当社では、事務所や現場休憩室から出る自社ごみの分別を徹底し、毎年70%を超えるリサイクル率を維持し、リサイクルの推進に努めています。

分別品目は多いですが、今後も分別を徹底し、リサイクル率向上を目指していきます。

●分別品目（※②から⑧はリサイクル）

- | | |
|---------------|--------------|
| ① 可燃物 | ② RPF用プラスチック |
| ③ RPF用紙くず・木くず | ④ ダンボール |
| ⑤ 新聞 | ⑥ 古紙 |
| ⑦ 機密書類 | ⑧ 缶・ビン・金属 |

●事務所ごみのリサイクル率



5. 電子契約書、電子Manifestの推進

平成29年9月に発表された第三次循環型社会形成推進基本計画において、「電子Manifestの普及率を平成28年度の電子Manifest利用割合50%」という目標が掲げられました。当社でも、電子Manifestの割合は62%となっています。平成30年6月に閣議決定された第四次循環型社会形成推進基本計画において、「2022年度の電子Manifest普及率を70%にする」との目標が掲げられましたので、今後も電子Manifestの推進を行ってまいります。

また、平成30年10月より、当社では産業廃棄物処理委託契約書を従来の紙面から電子形式における契約締結を推奨しております。印紙が不要であるだけでなく、メールのやり取りだけで締結できるため、締結までの時間を短縮できます。紙面での保存ではないため、紛失の心配もありません。

6. Webオンラインシステムを利用した営業活動

「ベルフェイス」を利用し、オンライン上でお客様と対話ができるシステムを導入しました。今までにも無料のWeb、ソフトはありましたが、事前にお客様がインストールをする必要があったり、接続に時間がかかるというデメリットがありました。ベルフェイスは、電話をしながらお互い画面を共有するタイプのため、音声が届かないこともなく、提供する資料も即確認していただける便利なツールとなっています。この営業形態をとることで、営業担当者の訪問回数を削減でき、移動にかかるコストだけでなく、ガソリンや資料用紙の削減など、環境負荷削減にも貢献しています。



7. 省エネルギーの提案（エネルギーソリューション事業）

当社のエネルギーソリューション事業部では、空調機器や照明器具、生産設備に付随するモーター等、お客様の既存設備の状況や予算に応じて、最適な省エネ対策プランをご提案させていただいております。省エネ照明器具の代表格であるLED照明や、省エネ性能は同等を維持しつつ、LED照明で課題であった眩しさを抑えた新しいタイプの無電極照明等の各種製品を取りそろえています。





8. ISO14001による環境マネジメントシステムの導入

平成13年にISO14001を認証取得後、昨年2015年度版への移行審査を経て、今年は更新審査を受けました。3日間、審査機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査の結果、今回も含めて重大な改善指摘事項カテゴリーAもBもなく、グッドポイントとして2件評価いただきました。

グッド ポイント 1

排出事業者をはじめとする社会の要請に応えるため、混合廃棄物からの金属等の有価物の選別のほかに、がれきの地盤改質材化、紙くず・木くず・廃プラのRPF化等、業務内容を順次拡大され、地域循環共生圏の形成に貢献していることを評価します。

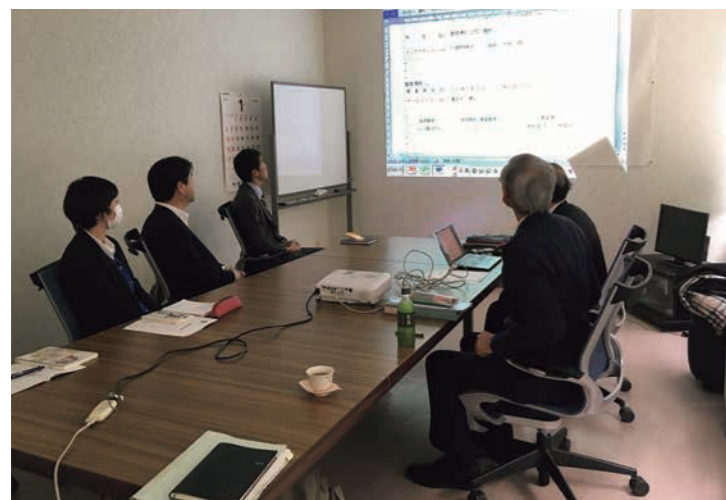
グッド ポイント 2

営業部では、本年度から下記業務のIT化を推進されています。

ア 2018年11月から、行政に確認の上、弁護士ドットCOMのクラウド型電子契約サービスにより、産業廃棄物処理委託契約書の電子契約を推進されています。印紙代不要、郵送不要など、大きな成果が見込めます。

イ 2018年10月から、ベルフェイスの画面共有ソフトにより、営業活動の際、営業パソコンの画面情報を客先パソコンと共有し説明することが可能になりました。資料送付が不要であり、「片付け堂」フランチャイズ店の募集や教育、電子契約PRなどに利用されています。同様に総務部でも、本年度からソフトバンクのRPAソフトを導入し、経理の転記作業・入金チェックの自動化などが進められています。

これら業務のIT化は、生産性向上、スピードアップ、コストダウン、ミス削減に繋がる活動であり、大いに推奨されます。



▲ 審査の様子



1. 漂着物の処理

今、海に大量に流入するプラスチックが、世界的な問題となっています。海の生態系に大ダメージを与えるだけでなく、将来的に食を通じて人体にも取り込まれる可能性があります。当社が立地している島根県は日本海に面しており、さまざまな漂着物が流れついています。当社では、海岸管理者と協議を行い、廃棄物の分析等を経て適正処理を行っています。



- 海岸漂着物の受入実績（2018.4～2019.3）
33 t / 年

2. 美化活動

平成12年より、毎月松江本社周辺の清掃活動を行っております。毎年4月は22日のアースデイに合わせ、多くの職員が参加しました。アースデイとは1970年アメリカで“地球環境について考える日”として提案された記念日です。松江本社周辺はラムサール条約の登録を受けている中海が付近にありますが、付近の道路には空き缶や弁当がらなどの不法投棄ごみがたくさん落ちています。今後も継続し、地域の環境保全に努めてまいります。

- 活動実績（2018.4～2019.3）

活動回数	合計参加人数	回収ごみ量
18回	335人	51kg



3. 不法投棄パトロール

毎年2回、鳥根県産業廃棄物協会と管轄行政の主催により県下一斉合同パトロールを実施しています。このパトロールは、鳥根県が平成7年度から取り組んでいる「廃棄物適正処理対策推進事業」の一環として、また、環境省が平成19年度から主唱している「全国ごみ不法投棄監視ウィーク（5/30～6/5）」の協賛事業として行われています。パトロール対象地域は、鳥根県があらかじめ指定した「重点監視地域」など不法投棄の発生が懸念される場所であり、5月31日には安来市広瀬町にて約8㎡の不法投棄物を回収しました。11月20日には、松江市山代町にて20㎡の不法投棄物を回収しましたが、回収しきれず後日行政が回収することになるほど大量の不法投棄がされていました。不法投棄物は、冷蔵庫・洗濯機などの家電や、タイヤ、自転車などの一般家庭から排出されるもので、通常の生活ごみとして回収されない廃棄物が多いです。当社では、こういった処理困難な廃棄物を適正に処理する「片付け堂」というサービスを行っており、不法投棄の撲滅に力を入れています。



4. 廃棄物処理状況確認見学会の開催

平成22年廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正により、事業者が産業廃棄物の運搬・処分を委託する場合には、その処理の状況に関する確認を行い、最終処分終了までの一連の処理工程における処理が適正に行われるために必要な措置を講ずるよう努めなければならないこととなりました。これを受け、排出事業者の皆様へ処理委託状況確認いただける機会として廃棄物処理状況確認見学会を毎年開催しています。廃棄物処理の委託先である当社を排出事業者に見ていただき、処理の流れ等をご理解いただく機会としておりますが、当社としてもお客様から直接ご意見をいただく貴重な機会となっております。



5. 環境教育

平成12年より、地域の小学校へ出前授業を行っています。内容は、「ごみの分別方法とごみのゆくえ」と題し、家庭から出るごみのサンプルを持参して分別方法を説明します。その後、そのごみがどのように処理されるのか、リサイクルされるのかを説明します。併せて「ごみ収集車（パッカー車）のしくみ」と題し、学校にごみ収集車を持って行き、車両の仕組みを説明する他、実際にごみの投入体験もしてもらいます。運転席にも乗ることができるので、子供たちに人気です。

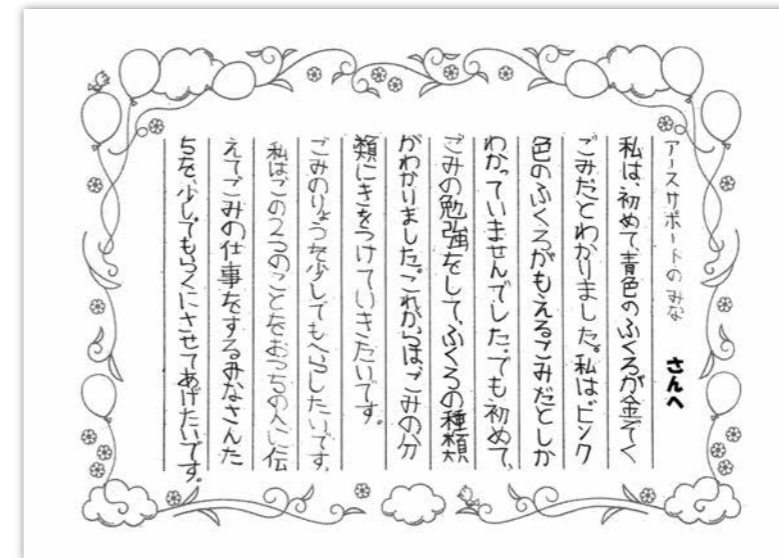
どの学校でも、子供たちは熱心に話を聞き、メモを取ったり、「パッカー車は1日に何箇所収集しますか?」「なぜ消火器が積んであるのですか?」といった質問を積極的にしてくれました。授業の後に、子供たちが授業で学んだことを文章や絵にしたものをいただくことがあり、そのすばらしさにいつも驚かされています。

● 出前授業

「ごみの分別方法とごみのゆくえ」

「ごみ収集車(パッカー車)のしくみ」

平成30年 6月11日	出雲郷小学校	2クラス	61名
平成30年 6月13日	竹矢小学校	2クラス	52名
平成30年 9月13日	揖屋小学校	2クラス	50名
平成30年10月11日	意東小学校	1クラス	25名
平成30年10月23日	母衣小学校	3クラス	83名



▲ 授業を受けた子供たちからいただいたおたより



アースサポート株式会社 「CSRレポート2019」を

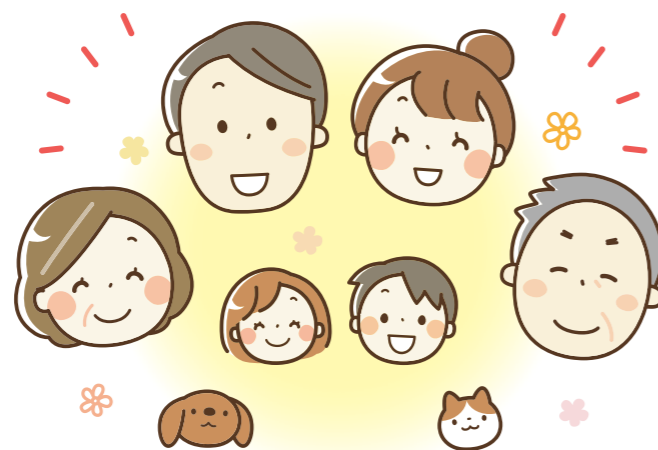
お読みいただきありがとうございました。

「CSRレポート2019」の作成にあたり、関係者の皆様方にご助力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。わたしたちは、地域社会、お客様および社員など、当社を取り巻くさまざまな環境への取り組みを実施するとともに、その情報公開に努めています。地域の皆様をはじめ、一般の方にもわかりやすく読みやすい報告書の製作を心がけています。そのため、内容に不十分なところも多々ございますので、皆様のご意見を参考にして今後もより良い報告書づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

当社のホームページ上にアンケートがございますので、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

URL <https://www.earth-support.jp/company/csr/>

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で、
QUOカード500円分をプレゼントいたします。



過去の環境報告書・CSR報告書・CSRレポートを ホームページで公開しています

